

利用上の注意

1. 指数の種類、基準時、ウエイト算定基準等

指数の種類 …… 生産指数及び生産者製品在庫指数

基準時 …… 平成2年

ウエイト算定基準 …… 生産指数は基準時付加価値額、生産者製品在庫指数は基準時年平均在庫額

指数値の計算 …… 暦年別、四半期別及び月別。なお、四半期のⅠ期とは1～3月期、Ⅱ期とは4～6月期、Ⅲ期とは7～9月期、Ⅳ期とは10～12月期のことである。

2. 分類

分類は、日本標準産業分類を基本とした業種分類と品目の用途に着目した特殊分類を行った。それぞれの内容は次のとおりである。

(1) 業種分類

業種分類については利用者の便宜や業界通念を考慮して、日本標準産業分類の一部組替えを行った。その内容は次のとおりである。

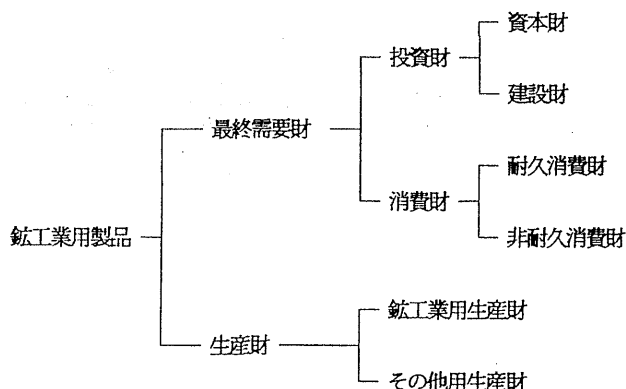
- ・29-一般機械器具製造業、30-電気機械器具製造業、31-輸送機械器具製造業を統合した「機械工業」を設けた。
- ・14-繊維工業製品製造業、15-衣服・その他の繊維製品製造業、20-化学工業に分類される204-化学繊維製造業を合わせて「繊維工業」とした。
- ・17-家具・装備品製造業のうち1711-木製家具製造業、1712-金属製家具製造業を合わせて「家具工業」とし、その他を非採用とした。
- ・ゴム製品工業、家具工業、木材・木製品工業、その他製品工業を統合し、「その他工業」を設けた。
- ・19-出版・印刷・同関連産業、24-なめし革・同製品・毛皮製造業、32-精密機械器具製造業、33-武器製造業は非採用とした。

したがって業種分類は次の25項目となった。

| | |
|--|--|
| 鋁工業 製造工業 鉄鋼業 非鉄金属工業 金属製品工業 機械工業 一般機械工業 電気機械工業 輸送機械工業 窯業・土石製品工業 化学工業 石油・石炭製品工業 プラスチック製品工業 | 紙・紙加工品工業 繊維工業 食料品工業 その他工業 ゴム製品工業 家具工業 木材・木製品工業 その他製品工業 鋁業 非金属鋁業 公益事業 産業総合 |
|--|--|

(2) 特殊分類

特殊分類の内容は以下のとおりである。



- ・最終需要財…鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない最終製品、ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
- ・投資財…資本財と建設財の合計。
- ・資本財…家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入単価の高いもの。
- ・建設財…建築工事に用いる資材及び衛生用陶磁器等の建築物に付随する内装品、また、土木工事の資材。
- ・消費財…家計で購入される製品。(耐久消費財と非耐久消費財の合計)
- ・耐久消費財…原則として想定耐用年数1年以上で、比較的購入単価が高いもの。
- ・非耐久消費財…原則として想定耐用年数1年未満又は、比較的購入単価が安いもの。
- ・生産財…鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品、ただし企業消費財を含み、建設財を除く。
- ・鉱工業用生産財…鉱工業の生産工程に、原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品。
- ・その他用生産財…非鉱工業用の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財。

3. 採用品目

採用品目は、生産指数198品目、生産者製品在庫指数117品目。なお、特殊分類指数では、乗用車(資本財と耐久消費財)板ガラス(建設財と鉱工業用生産財)、みがき板ガラス(建設財と鉱工業用生産財)、A重油(鉱工業用生産財とその他用生産財)、C重油(鉱工業用生産財とその他用生産財)、雑種紙(鉱工業用生産財とその他用生産財)、植物油脂(非耐久消費財と鉱工業用生産財)のように用途が2つ以上にまたがる7品目につき、ウエイトを分割して複数の系列として扱っているため、業種分類の品目数と一致しない。

採用品目は、主として通商産業省生産動態統計調査によっているが、この調査では県内鉱工業生産、在庫の動向が十分把握できないので、三重県生産動態統計調査により補完している。その品目は、次のとおりである。

鋼船、生コンクリート、医薬品、大型紙袋、段ボール箱、紙管、器械生糸、生鮮肉、肉製品、処理牛乳、水産練製品、味噌、醤油、イノシン酸ソーダ、精米、精麦、小麦粉、食パン、菓子パン、米菓、清酒、焼酎、合成清酒、味りん、配合飼料、植物油脂、でんぷん、ぶどう糖、水あめ、めん類、豆腐・油揚げ類、コーヒー、製材、普通合板、特殊合板、真珠加工品、電力、ガス

4. 指数の算式

個別系列を基準年次の固定ウエイトで加重平均するラスパイレス算式である。

$$\text{総合指数} = \frac{\sum \frac{\text{比較時 生産量 (生産者製品在庫量)}}{\text{基準時 生産量 (生産者製品在庫量)}} \times \text{基準時ウエイト}}{\text{基準時ウエイトの総和}}$$

5. 季節調整

季節調整は、MITI法Ⅲ-Rを採用した。

6. 統計表中の符号の用法

- 「—」 該当数字がないもの
- 「X」 数字が秘匿されているもの
- 「0」 単位未満
- 「△」 減少を示す

